

災害時に障害児とその家族が 安心して過ごせる避難所をつくる

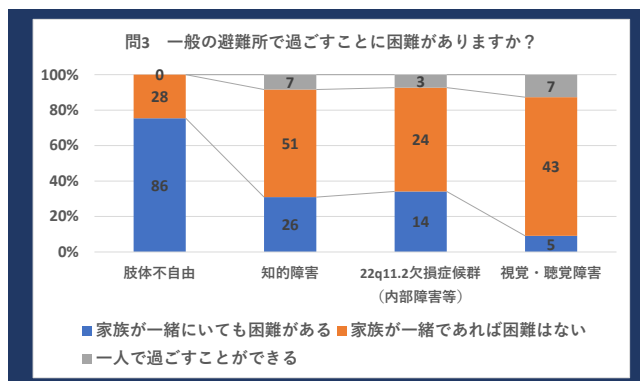
特別支援教育コース 教授 新井 英靖

避難所に必要な
ものは何？

障害児とその家族は、災害時に避難所に入ることができないというニュースを多くみます。それはなぜなのか？そして、どうすれば災害時に安心して避難することができ
るのか？という点について調査を行いました。

この研究の中で、避難所には人工呼吸器を動かすために必要な電源やポータブルトイレなど、防災用品を備える

ことが必要だけでなく、周囲の人の理解や個室・福祉避難室が必要な家族が多
いことが明らかに
なりました。

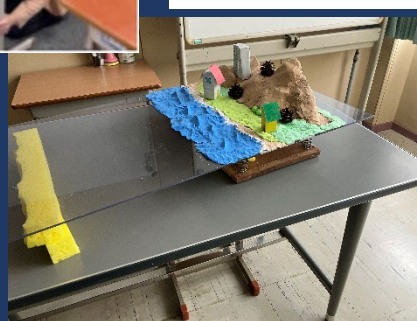


知的障害児の防災教育(教材開発と授業づくり)について研究しています



教材①

教材②



災害時に知的障害児が考えて行動することができるように、学生や大学院生と一緒にさまざまな教材を開発しています。

教材①「教えて！地震博士」

(防災教育で活用できる動画教材を学生と一緒に作りました)

教材②「地震はどうして起きる？」

(知的障害児が地震のメカニズムを理解できるように、大学院生と一緒にプレートの動きを模型で作り、授業で活用しました)

文部科学省科学研究費補助金を受けて行われています！



近年、日本各地で災害が頻発していることから、特別支援学校の防災機能と防災教育について、国から補助金を受けて研究を行っています。

10年前の東日本大震災のあとに研究を始めました。

(科学研究費補助金基盤研究C: 研究代表者 新井英靖 / 研究分担者 田原敬 石田修)

障害児の防災研究の今後の展望

経験したことのない災害をリアルに感じることができるように、VR機器を使って、知的障害児が災害時の行動を考えることができる教材の開発を始めています。

